

図書館だより No.2

2023年5月発行
松阪高校図書館
担当: 3年図書委員

始業式・入学式から一か月、新しいクラスには慣れてきたでしょうか。
今年度の図書委員は、委員長 3年6組 中野祐月・副委員長 3年5組 松井蓮
の2人を中心に運営していきます。図書館は8時20分から16時50分まで開いているので、是非
お立ち寄りください。特に2年生はSSHの研究資料探しや過去のデータ閲覧のために利用が増えると思
います。図書館の本を借りるときは図書貸出カードを忘れないようご注意ください（カードがなくな
っても貸し出しは可能です）。

図書館だよりは、今年度も Google Classroom での配信と教室掲示 そして松阪高校HP (ホームページ) への掲載をさせていただきます。図書館だより（配布版）は、図書館入口とブックポストの上に置
いておきますので、ご利用ください（発行後2週間ほど）。

なお、保護者の方はお子様（松高生）を通じて本を借りていただけます。どうぞご利用ください。

2023「本屋大賞」受賞作品発表！！

2003年より続き、今年20周年を迎えた「本屋大賞」。その記念すべき第20回目の受賞作品
が4月12日（水）に発表されました。サスペンス、ミステリーから心温まる作品まで、その年
最も反響を呼んだ作品を現場の書店スタッフの投票のみで決定する「本屋大賞」。受賞作品は図書
館ですべて取り扱っているため、これを機に手に取って読んでみてはいかがでしょうか。

そんな第20回本屋大賞受賞作品の中でも私がおすすめするのは

「ラブカは静かに弓を持つ」安壇美緒著 集英社

少年時代、チェロ教室の帰りにある事件に遭遇し、以来、深海の
悪夢にさいなまれながら生きてきた主人公。

ある日、上司から音楽教室への潜入調査を命じられる。

その目的は、著作権法の演奏権侵害の証拠をつかむこと。

身分を偽りチェロ講師のもとに通い詰める主人公だが、

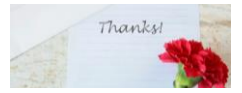
そこでの出会いや奏でる喜びが彼の凍った心を溶かしていく。

しかし、前提にあるのは裏切りであり、法廷に立つ時間が迫り…



これは優れた「物語」であり、「演奏」である。訪れる感動は残響となり、鳴り続けるだろう。

2023. 4. 20 ~ 5. 22 に図書館に入った本



分類	タイトル	著者
0 総記	069.5 世界はさわらないとわからない／平凡社新書	広瀬浩二郎
1 哲学	159 もっと早く言ってよ。50代の私から20代の私に伝えたいこと	一田憲子
2 歴史 地理	210.7 ぼくらの戦争なんだぜ／朝日新書	高橋源一郎
	291.2 みやぎから、 	佐藤健、神木隆之介
	295.3 ◇旅をする木／文春文庫	星野道夫
3 社会 科学	311.7 そもそも民主主義ってなんですか？ 知識ゼロからわかる！	宇野重規
	320 大人になる前に知ってほしい生きるために必要な「法律」のはなし	
	361 「コミュ障」のための社会学 生きづらさの正体を探る	岩本茂樹
	361.4 誰にも嫌われずに同調圧力をサラリとかわす方法	大嶋信頼
	379.7 ◇灘→東大→MITに合格した私の「学びが好きになる」勉強法 	前田智大
4 医学	491.3 運動脳 新版・一流の頭脳 	アンデシュ・ハンセン
7 芸術	726.1 ♡ちはやふる50／BE LOVE KC	末次由紀
	786.8 いままでとこれから	堀米雄斗
8 言語	809.2 オトナ女子のすてきな語彙力帳 いつもの言葉があか抜ける	吉井奈々
9 文学	902 女の子の謎を解く 	三宅香帆
	913.6 空をこえて七星のかなた	加納朋子
	913.6 透明な夜の香り	千早茜
	913.6 ある愛の寓話	村山由佳
	916.2 いつか、未来で 白血病ユーチューバーが伝えたいこと	にゅーいん
	929.1 ♣プリズム	ソン・ウォンピョン
	933.6 ガリヴァー旅行記（新版）／岩波少年文庫 	ジョナサン・スウィフト
	933.7 ♣われら闇より天を見る 	クリス・ウィタカー
933.7 ♣グレイス・イヤー 少女たちの聖域	キム・リゲット	

※タイトルの前の記号 ♡→リクエスト or レファレンス ◇→入試対策 ♣→特集展示（本屋大賞）

※本の表紙画像は「openBD プロジェクト」を使っています。

「openBD 書誌情報・書影を自由に」(<https://openbd.jp>)

松高ホームページ
図書館のページ→



図書館だより（配布版）は、図書館入口とブックポストの上にありますので、自由にお持ちください。配信版が利用しづらい方、新着図書にチェックを入れたい方はご利用をおすすめします。